

## 第5学年国語科学習指導案

日時 平成20年11月21日(金) 4校時  
児童 5年2組 男16名 女14名 計30名  
指導者 豊川浩子

### 1 単元名 人物の考え方や生き方をとらえよう

教材名 「わらぐつの中の神様」(杉みき子)(光村図書 5年下)

### 2 単元について

#### (1) 指導事項について

主たる指導事項は、「ウ 登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むこと。」である。

#### (2) 教材について

本単元「人物の考え方や生き方をとらえよう」は、登場人物の人柄や心情、相互関係を叙述と関係付けてとらえ、人物の考え方や生き方について自分の考えをもつことをねらいとする。

本教材「わらぐつの中の神様」は、わらぐつを編むおみつさんの心や若い大工さんのものの見方・考え方から、おばあちゃんの伝えたかった神様の意味をマサエが受け止めていくことを通して、見かけではなく、人の身になって尽くす心を大切に生きていくことの尊さや幸せを伝えている物語である。また、そこには、おばあちゃんとマサエ、おみつさんと大工さんとの心の通いが描かれている。子どもたちは、心が通い合ったほのぼのとした美しさに共感し、登場人物の考え方や生き方から自分の考え方や生き方を見つめ直しながらかよぶことができると思われる。さらに、現在一過去一現在という、昔語りを前後で包み込んだ巧みな構成や「わらぐつ」「雪げた」などの重要な役割をもった「物」の描写、それまで三人称で語られていた人物が結末では語り手に変化するという表現の技法など、優れた叙述を味わいながら読むことができると思われる。

このように、本教材は、単元のねらいに迫るために適した教材であると考えられる。

#### (3) 児童について

##### ① 学習意欲について

国語の読み取りの学習については、物語文では登場人物の心情、説明文では筆者の考えなどを叙述と関係付けて読み、自分なりの読みを進んで発表し合う姿が見られる。

##### ② 読むことについて

物語文教材「新しい友達」では、登場人物の心情の変化を読み取る学習を行った。このことにより、登場人物の会話や行動に着目し、叙述と関係付けて心情を読み取ることができるようになってきている。

##### ③ 読む活動について

音読としては、一単位時間の中で、学習範囲を確認したり課題について見通しをもったりするために、また、まとめ読みとして学習したことを確かめるために、一斉読みや指名読み、自由読みなどを取り入れてきた。声に出して読むことに抵抗のある児童も見られるが、着目したい語や文に気を付けながらかよぶことができる児童が多い。

##### ④ 書く活動について

物語文教材「新しい友達」では、登場人物の心情について学び合ったことを基に、課題の答えを書きまとめる活動を行った。このことにより、内容や文章量に個人差は見られるが、読み取ったことを自分なりに書きまとめることができるようになってきている。

#### (4) 指導について

##### ① 学習意欲について

単元の導入では、単元のねらいや学習の進め方などについて確認し、見通しをもつことで、児童の学習意欲が持続できるようにする。また、作者・杉みき子の他の作品を紹介し、並行読書に取り組むことで、同一作者の作品の世界を味わい、さらに本教材の学習にも意欲がもてるようにする。

##### ② 読むことについて

昔語りの部分全体を、場面で区切らず、観点で読み取ることで、短時間で作品全体を読み取る力を身に付けることができるようにする。また、マサエの変容、おみつさんと大工さんの人柄や考え方などを、叙述を対比したり類比したりして読み取る手法を取ることで、叙述と場面と場面などを関連させながら、さらに確かに読み取る力を高めることができるようにする。

##### ③ 読む活動について

学習の見通しをもつ場面では、学習範囲や着目したい叙述を一斉読みすることで、登場人物の人柄や考え方をとらえることができるようにする。一人学びの場面では、微音読や黙読をすることで、一人一人が積極的に文章にかかわり、自分の読みをもつことができるようにする。

##### ④ 書く活動について

読み取ったことを書きまとめることで、読み取った内容を確認したり、自分の考えの広がりや深まりを実感したりすることができるようにする。その際、キーワードや段落構成などの条件を指定し、条件に合わせて書く経験を積み重ねることができるようにする。

### 3 学習指導目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・文章の内容や表現に関心を持ち、進んで叙述と関係付けながら読み取ったり、自分の考えをもつたりしようとしている。

(2) 読む能力

- ・登場人物の人柄や心情、相互関係を叙述と関係付けながら読み取り、自分の考えをもつことができる。 (読 ウ)

(3) 言語についての知識・理解・技能

- ・読み手を引き付けるための構成の工夫に気付くことができる。 (言オ【ア】)

### 4 指導計画及び評価規準（「読むこと」8時間）

次	時	学習内容	評価規準
一	1	・教材文を読み、単元のねらいを確認する。	【関】進んで初発の感想を交流し、単元のねらいをとらえようとしている。
	2	・文章全体の構成やあらすじを押さえ、学習計画を立てる。 ・新出漢字や言葉の学習をする。	【読】主な登場人物や設定、出来事などを押さえている。(ウ) 【言】「現在－過去－現在」の構成を押さえている。(オ【ア】)
二	3	・マサエの人柄やわらぐつと神様に対する見方を読み取る。	【読】おばあちゃんと対比させながら、マサエの人柄やわらぐつと神様に対する見方を読み取っている。(ウ)
	4	・おみつさんやわらぐつにかかわる出来事を読み取る。	【読】時間の経過に沿って、おみつさんやわらぐつにかかわってどんな出来事があったのかを読み取っている。(ウ)
	5 本時	・おみつさんと大工さんの人柄や考え方の重なり合いを読み取る。	【読】おみつさんの様子や大工さんの言葉を類比させながら、二人に共通する人柄や考え方を読み取っている。(ウ)
	6	・マサエの変容を読み取る。	【読】マサエの様子の変化から、マサエがおばあちゃんの話を受け止めたことを読み取っている。(ウ)
三	7	・読み取った内容や表現の効果などについて、自分の考えをまとめる。	【読】登場人物の考え方や生き方、表現の効果などについて、自分の考えをまとめている。(ウ) 【言】「現在－過去－現在」の構成の効果に気付いている。(オ【ア】)
	8	・作者の他の作品の感想を交流する。	【関】自分が読んだ作品の感想を進んで交流しようとしている。

### 5 本時の指導

(1) 目標

読む能力（読ウ）

- ・おみつさんのわらぐつを編むときの様子や大工さんの会話を類比させながら、二人に共通する人柄や考え方を読み取ることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	教師の支援（○主発問）
見通す	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を把握する。	・前時では、昔話りの部分を「出来事で読む」という観点で読んだことを想起することで、本時の学習への意欲を高めるようにする。 ・本時では、「人物で読む」という観点で、おみつさんと大工さんの仕事に対する考え方や人柄を読み取ることを確認し、学習の見通しをもつことができるようにする。
5分	おみつさんと大工さんの仕事に対する考え方や人柄を読み取ろう。	

<p>深める</p> <p>35分</p>	<p>3 学習課題を解決する。</p> <p>①おみつさんと大工さんの仕事に対する考え方について一人学びをする。</p> <p>②おみつさんと大工さんの考え方について学び合う。</p> <p>③読み取った内容を書きまとめ、交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おみつさんのわらぐつを編むときの様子や大工さんの会話など、二人の仕事に対する考え方が表れている叙述を押さえ、どの子どもも一人学びに取り組むことができるようにする。</li> </ul> <p><b>【読む活動】</b> 二人の仕事に対する考え方を考えるために、おみつさんのわらぐつを編むときの様子や大工さんの会話などの叙述を一斉読みする。</p> <p><b>【書く活動】</b> 課題に対する自分の考えをもつために、おみつさんと大工さんの仕事に対する考え方について分かったことや考えたことを書く。</p> <p>○おみつさんと大工さんの仕事に対する考え方について学び合しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「少しくらい格好が悪くても」「心をこめて」「しっかりしっかり」などの叙述から、履く人の気持ちを大切にしているおみつさんの考え方を読み取ることができるようにする。</li> <li>・「見かけで決まるもんじゃない」「使う人の身になって」「ほんとうのいい仕事」などの叙述から、見かけではなく、人の身になって心を込めて作ることが大切なのだという大工さんの考え方を読み取ることができるようにする。</li> </ul> <p>○おみつさんと大工さんの考え方で、似ているのはどんなところでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二人の考え方を類比させることで、「見かけではなく、人の身になって心を込めて物を作る」という共通した考え方が二人にあることを理解することができるようにする。</li> <li>・二人に共通した考え方が、おみつさんが作ったわらぐつやおみつさんの人柄としても表現されてることに気付かせ、二人の心の通い合いをより深くとらえることができるようにする。</li> </ul> <p>○おみつさんと大工さんの考え方を比べて、分かったことを書きまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめる内容やまとめ方について確認し、どの子どもも書き始められることができるようにする。</li> </ul> <p><b>【書く活動】</b> 読み取った内容を確認したり、自分の考えの広がりや深まりを実感したりすることができるように、読み取ったことを書きまとめる。その際、「①読み取った内容」「②それに対する自分の考え」の2段落構成で書くという条件を提示し、条件に合わせて書く経験を積み重ねることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二人の人柄や考え方の共通点をより明確にまとめている子どもを指名し、友達の考えのよさに気付くことができるようにする。</li> </ul>
<p>まとめる</p> <p>5分</p>	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>5 次時の学習について見通しをもつ。</p>	<p><b>【読む活動】</b> 読み取ったことを確かめるために、本時で着目した叙述を一斉読みする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の関心・意欲・態度や課題について振り返り、満足感や成就感をもつことができるようにする。</li> <li>・次時では、「わらぐつに神様のいなった話」を聞いた後の、マサエの変容を読み取ることを確認し、次時の学習の見通しをもつことができるようにする。</li> </ul>

(3) 具体の評価規準

観点	十分に満足できる	満足できる	努力を要する児童への手立て
読む能力	おみつさんの様子や大工さんの言葉を類比させながら、二人に共通する人柄や考え方を読み取り、二人の心の通い合いについて自分の考えをもっている。	おみつさんの様子や大工さんの言葉を類比させながら、二人に共通する人柄や考え方を読み取っている。	板書を手がかりにしながら読み取ったことを一緒に確認し、二人に共通する人柄や考え方を書きまとめることができるようにする。